

# OCI 向けの Red Hat Enterprise Linux で標準化する 5 つのメリット

多くの組織は、パブリッククラウドの柔軟性とスケーラビリティを活用してビジネス要求の変化に対応するために、ハイブリッドクラウドまたはマルチクラウドの戦略を採用しています。Red Hat と Oracle は、データセンターから Oracle Cloud Infrastructure (OCI) (OCI パブリック/ハイブリッド/マルチクラウド環境、OCI Dedicated Region、Oracle Alloy を含む) までをカバーする一貫したセキュリティ重視の基盤を、包括的にサポートされた認定済みソリューションとして提供しています。このチェックリストでは、OCI 向けの Red Hat® Enterprise Linux® で標準化する 5 つのメリットについて説明します。

## 1 運用効率を最適化する

ハイブリッドクラウドやマルチクラウドの環境で運用すると、運用効率を向上させる機会が数多く得られますが、適切な基盤がなければ、そうした機会を十分に活用することは困難です。

Red Hat と Oracle が共同開発した OCI 向け Red Hat Enterprise Linux は、OCI クラウドインスタンスおよびサービスで最高のパフォーマンスを発揮するように構成されています。基盤となるテクノロジーを気にせずデプロイおよび構築できる安定した環境が提供されるため、お客様は運用業務に時間を費やすのではなく、ビジネスを前進させる取り組みに注力できます。

次のような重要な運用改善をもたらすことが実証されている Red Hat Enterprise Linux で標準化することにより、環境のさらなる最適化が可能になります。<sup>1</sup>

- ▶ インフラストラクチャ・チームの効率が 34% 向上
- ▶ セキュリティチームの効率が 33% 向上
- ▶ 開発者の生産性が 33% 向上
- ▶ コンプライアンスチームの生産性が 19% 向上

## 2 IT 環境全体の一貫性を維持する

IT 環境の複雑さが増すなかで、インフラストラクチャ間の一貫性を維持するのは簡単ではありません。

OCI 向けの Red Hat Enterprise Linux は Oracle のクラウド環境向けにカスタマイズされており、事前調整済みですぐに実行可能なイメージを使用して、クラウドにおけるワークロードの構築、デプロイ、管理を最適化することができます。

これには、OCI インフラストラクチャとの完全統合や、OCI Public Cloud、Oracle VM、OCI Public Cloud Bare Metal、OCI Government Cloud (EU Sovereign を含む)、OCI Isolated Region、Oracle Alloy、Oracle C3、Oracle Private Cloud Appliance、Oracle Roving Edge などの幅広い OCI 分散型クラウド製品における可用性が含まれます。

## 3 開発とデプロイを最適化する

OCI 向けの Red Hat Enterprise Linux で標準化すると、お客様の組織は Red Hat Enterprise Linux のイメージモードにアクセスできるようになり、コンテナネイティブ・ツールを使用してブートコンテナイメージをデプロイできます。

これにより、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発と IT 運用を、オペレーティングシステム (OS) とアプリケーションの両方に対応する統合管理ツールセット、およびチーム間で共通のエクスペリエンスと言語を備えた、単一のパイプラインに統合できます。

1 IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援)、「[Red Hat Enterprise Linux で標準化することのビジネス価値](#)」、Document #US52594324、2024 年 9 月。

## 4 組織全体のセキュリティポスチャを強化する

IT 環境全体で強力なセキュリティ体制を維持することは簡単な作業ではありません。組織の攻撃対象領域が著しく拡大する可能性があるハイブリッドクラウドやマルチクラウドの環境では、なおさらです。

OCI 向けの Red Hat Enterprise Linux で標準化することで、ハイブリッドクラウドやマルチクラウドの環境全体をカバーするセキュリティ重視の基盤を構築できます。この基盤には次のような機能が含まれます。

- ▶ 不変のシステムイメージ：潜在的な攻撃対象領域の削減に役立ちます。
- ▶ セキュアブートとイメージ認証：イメージブートからランタイムまで、最新のトップダウン型セキュリティ・テクノロジー上で組織のワークロードの稼働を維持します。
- ▶ プロアクティブなセキュリティおよび障害アラート：Red Hat Lightspeed (旧 Red Hat Insights) により、単一のインタフェースを介して、ハイブリッドクラウドやマルチクラウドの環境全体に通知します。

## 5 重大なスキルギャップを解消する

ハイブリッドクラウドやマルチクラウドの環境に移行すると、複雑なテクノロジーの導入時と同じように、組織内の重大なスキルギャップが顕在化する可能性があり、解消が必要になります。

OCI 向けの Red Hat Enterprise Linux で標準化することで、最適化されたプロセスと一貫したツールがチームに提供され、Red Hat Lightspeed も利用できるため、こうしたスキルギャップを最小限に抑えることができます。

Red Hat Lightspeed は、数十年にわたる Red Hat の専門知識を基盤とする、生成 AI を活用したサービスで、簡単なコマンドを使用して Red Hat Enterprise Linux を構築、デプロイ、管理できるようにします。この革新的なツールは、以下の機能を通じて、チームのスキル向上や、必要な人員およびリソースの削減を支援します。

- ▶ プロアクティブなガイダンス：イメージビルダーのパッケージに関するアドバイス、構成に関するトラブルシューティング支援、ログエントリーの解析などを通じて、あらゆるスキルレベルのユーザーがワークロードを構築、デプロイ、管理できるようにします。
- ▶ コマンドライン・アシスタントとのシンプルなやり取り：質問すると、簡単な言葉で回答が得られます。
- ▶ 情報へのアクセス：数千ページに及ぶ Red Hat 製品ドキュメントなど、幅広いリソースからの情報が含まれます。

### さらに詳しく

[Red Hat と OCI のコラボレーション・パートナーシップ](#)の詳細をご覧ください。また、[Red Hat Enterprise Linux で標準化する](#)メリットの詳細をご覧ください。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
apac@redhat.com

**オーストラリア**  
1 800 733 428

**インド**  
+91 22 3987 8888

**インドネシア**  
001 803 440 224

**日本**  
03 4590 7472

**韓国**  
080 708 0880

**マレーシア**  
1 800 812 678

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**シンガポール**  
800 448 1430

**中国**  
800 810 2100

**香港**  
800 901 222

**台湾**  
0800 666 052

**f** fb.com/RedHatJapan  
**✕** twitter.com/RedHatJapan  
**in** linkedin.com/company/red-hat